

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念が開設当初からあるが、内容が長く現在の職員では共有しにくい環境にある。	自分たちで理念を作り上げ、共通認識を持つ。	職員全員で理念を作成して理念の共有を目指す。	3ヶ月
2	4	運営推進会議メンバーが固定されており、現在以上に地域に根付く事が出来ない。	運営推進会議メンバーを増やし、より地域に根付いた施設を目指し、施設をアピールして行く。	地域の方々や周辺施設に声をかけ、ホームの取り組みや活動の周知を目指す。	6ヶ月
3	35	地域住民や地域施設との連携が十分に出来ていないので災害時などに地域住民や地域施設などの協力などが十分に得られない可能性がある。	災害時など地域住民や地域施設などの協力体制が取れる施設作りを目指す。	運営推進会議などを利用し地域住民や地域施設など参加して頂きグループホームをより地域住民や地域施設に浸透させて行く。	6ヶ月
4	6	施設出入りに鍵が施錠されている。	身体拘束のない施設作りを目指す。	日中の施錠をやめ、入居者や御家族様に抑制感、圧迫感を与えない。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。